



も と は し つ う し ん

本橋通信

第66号
2026年2月

本橋Fαオフィス 電話:090-7909-2111/メール:rmotohashi0419@gmail.com

★★★この本橋通信は、私とご縁のあった方に差し上げている個人通信です★★★

昔のヒトは上手いこと言ったなあ…

皆さまこんにちは。本橋通信第66号をお届けいたします。今月もどうぞ最後までお付き合いください。年が改まって少し経ちましたが、心機一転の余韻で「昔のヒトはよく言ったものだなあ」と身を持って体感することがありました。「餅(もち)は餅屋」という言葉があります。日常的に使う言葉ではないかもしれませんが、餅は餅屋さんがついたものが一番美味しい…つまり、どんなことでもその分野の専門家に任せるのが一番良いという意味です。現代にはお餅をついてくれるプロなんて存在しませんが、江戸時代には忙しくて正月に餅が準備出来ない家に、杵と臼持参で餅つきを請け負う「貸餅屋」なる商売があったのです。この餅がとても美味しく、やっぱり餅屋がついた餅は最高だという事で、何でも専門家に任せるのが一番だ...となった訳です。さて、私の仕事場つまり私の実家では外壁リフォームが始まり、アツという間にトンカンカン足場が組み、養生の目張り、ついでに建てつけの悪くなったサッシの調合も手際よく直して終了。そして私の車、約10年ぶりに新しくしようと久々にディーラーへ。対応してくれた担当の方は、初売りフェアのテンションか、始めはマシンガン・トークでの暑苦しいPRでしたが…私が「こんなシーンや用途(近場へゴルフ)で…」や「自宅まで道が狭いから…」とか、自分の状況や考えを伝えると、それであれば今はこういったオプションが便利ですとか、安全性にはこういったレベルが等々… もはやどこまで求める



かによりますが、前提知識やイメージが全くない中でも自分に合った選択肢のご提案ベースでの商談へ…、流石は「車は車屋さん」。これどんな商売でも同じです。お客さまは自分ではできないことを、専門家に依頼するのであり、その意思決定は「お任せしよう」という信頼が大前提のもの…という当たり前の基本を再確認。

MFAO(Motohashi Financial Advisors Office)の本棚より

今月は私から、『いつの間にか富裕層の正体-普通に働き、豊かに暮らす、新しい富裕層』です。著者は野村総研の金融コンサルティング部。因みに私は「富裕層」というワードが大嫌いです。金融業など事業者からの目線で何らかの売り込みをする相手としての対象というニュアンスが強すぎてどうも違和感のある言葉です。そもそも「フユウソウ」なんていう画一的な方々は存在せず、皆さんそれぞれ価値観が全く異なり、それを大切にしたい人生設計や資産形成をしています。この本は改めて

「いつの間にか富裕層」の正体

普通に働き、豊かに暮らす、新しい富裕層

野村総合研究所 金融コンサルティング部
竹中啓貴 荒井匡史

一般社員の富裕層が増加



私のお客さま方はどんなサービスを希望し、どんな判断基準をお持ちで価値観を大切にするのかを再確認しようと手に取りました。まず野村総研の定義では純金融資産1億円以上の方々を富裕層、同5億円以上の方々を超富裕層としています。2章では従来型イメージの資産家(経営者、医師、弁護士等)と近年は給与所得積み上げ&積立投資の継続で堅実な資産形成へ定量的な保資産額から上位にシフトという方も多くなりつつあるとの調査。そして、こうした「いつの間にか富裕層」は、ネット証券や非課税口座フル活用と昨今の株高の社会背景に、ご自身の退職金に親世代からの相続もありと…今や普通の方が直面しそうな事であり、だからこそレジャー等の消費行動も至って健全!

✍️ IFA (Independent Financial Advisor) 本橋の視点より ✍️

共同通信社さま経由にて、各地方新聞紙面「ライフセミナー」欄に掲載コラムより。年初恒例のゆるコラムより干支にまつわる相場格言から資産運用のヒントを。辰巳天井後の「午(ウマ)尻下がり」なのですが、果たして…

Q. 干支にちなんだ相場格言から、午年の資産運用のヒントはありますか？

A. 2026年の干支は十二支では午(うま)年ですが、正式には十干で三番目とされる丙(ひのえ)と組み合わせられた「丙午」(ひのえ・うま)の年です。火の要素と太陽や生命のエネルギーを表す丙と、俊足を持ち躍動感のある力強い午との60年に一度の巡り合わせは、縁起が良くビジネスの成功の年になりそうな予感です。

しかし、マーケットの格言から見る午年は「午尻下がり」とされ、投資家としては警戒感を忘れてはならない年でもあります。辰年・巳年の二年間は「辰巳天井」と言わんばかりに、日米株式市場とも天井(最高値)を目指して上昇相場となった後だけに、遂に失速で尻下がり相場が来るかも…と、身構えてしまうかもしれません。

馬(うま)は強靱な足でしっかり大地を蹴って力強く前進してゆく動物です。神社では多くの人々が絵馬を通じて学業成就や商売繁盛などの願いを託す神への使いの存在でもあります。古今東西語り継がれる様々なマーケットの格言は、先人投資家の知恵として頭の片隅に入れながらも、今後はこういったビジネスが地にしっかり足をつけて商売繁盛となりうるのか、新しい年のスタートに少し先読みでポジティブな投資感性を磨くと、今年の投資もウマ(馬)く行くカモ…と、前向き投資脳のすゝめです。(独立系金融アドバイザー 本橋竜一)



★★
24年、25年は日米株式市場ともぐんぐんと勢いづいて上がりましたので、午尻下がり=後半はいよいよ注意せよ…というのは、それなりの良いご指摘に聞こえそうです。そろそろアブない/いやまだ大丈夫と両論ある中は、もう少しノビしろ有？ 皆でダイジョブ全開だと危険信号点滅？

◆ 編集後記 ◆

最近、自分時間の中でめっきり少なくなってきたのは本を読む時間です。若い頃は仕事の実務や知識を高めるべく、沢山の本でお勉強して実践したりといろいろ。その後は仕事の取り組み方系や人間性や心得系と移動のスキマ時間に集中して格闘でしたが、今や目のショボショボがなかなかの難敵… 気になる本は次々買っても、ダラダラながら読みのペースで、積読本タワーがどんどん高くなっています。子供の頃から百科事典や辞書等、物理的な紙のページめくり慣れ親しんできた世代として、今年は読書で発想を豊かに…です。

◆ 今後本通信をご希望されない方は、お手数ですがお知らせ下さいますようお願い致します ◆

【発行者プロフィール】

本橋 竜一(もとはし りゅういち)、1974年4月19日生まれ。東京郊外八王子の高尾在住。早稲田大学卒業後、横浜銀行で金融マンとして社会人をスタートしました。その後、国内(あおぞら銀行、みずほFG、三菱UFJ)、外資系(スイスUBS)金融機関にて、約15年間に渡ってプライベートバンキング(ご資産家のお客さま専用金融サービス)を経験し、ファイナンシャルアドバイザーとして独立開業。家族は妻、娘、息子の4人。



趣味はエンジョイゴルフ(スコア3桁でも緑の芝で気分爽快!)と読書(ジャンル無差別:乱読・積読?)

お客さまに対する想い:人生に専属のファイナンシャルアドバイザーがいる安心感を提供したい…

本橋FαオフィスWEBサイトは と検索! <https://www.pfa-withyourlife.jp/>

皆さまからのご感想・ご要望をどんどんお寄せください。

➡ 本橋携帯:090-7909-2111 メール:information@pfa-withyourlife.jp